

# 言葉について(其二)

S 生

前々号で良い言葉と悪い言葉について理論的に述べてみましたが、今度は古谷綱武先生のお話を引用して、良い心より出た美しい言葉とはどんなものかと言ふことを具体的に述べてみたいと思います。

母一人子一人のある学生が、東京に入学試験を受けにゆき、試験が無事終つて合格発表の日、見ゆくと努力の甲斐あつてか美事合格しておりました。何より早く一心配して居る母に知らせなければ……と思ひ、郵便局に駆けつけて電報用紙を貰ひ「ゴウカクシタ」と書いたそうです。それを窓口に持出そうとした時、どうもその電文では自分の気持ちにぴたりとしない。これでは事実だけで自分の気持は少しも表現されてないことに気が付き、電報用紙をもう一枚貰ひ、今度は心から自然に湧き出てくるまま、「オカアサン」と書いたそうです。すると後はすらすらと「ゴウカクシマシタ」と云う言葉となつて、事実も気持もぴつたりと表現することが出来たそうです。

今日我々が社会生活を営む上に於いて、最も重要な役割を果すものは言葉であることは周知のとおりです。言葉によつて「文字」が生れ、更に「文学」も宗教も芸術も科学も「生れた」といふことができます。

## 原町

### 石油ランプとお別れ

九月六日、幸川の開拓部落原町に待望の電気が入り石油ランプとも別れを告げられた。

開拓当初より十余年の長い歳月石油ランプで過ごして来た原町の人達にとつて、この上もない喜びであると思ふ。

電気、これはいまでも

なく光、熱、力更に電波となつて私達の生活に、なくてはならないものとなつて居る。

原町の人々たちも早く電気を入れようとこれまで何回となく運動を繰り返してきたが、何しろ八十万円という工費に手が出せなかつたのである。しかし県や

又、或る学者は「美しい言葉は美しい顔より魅力がある。それはかりか、他の欠点を補つてくれる」と云つていますが、私も美しい言葉を使用することによつて、必ずその態度にも心の美しさが表われてくると思ひます。

しかし誤解されないために、美しい言葉とは、前に

「としより」を大事にする度合でその国の文化の程度をはかることができると思ひます。

村当局の援助によりようやく電燈をつける迄にこぎつけた。

これからは子供達も明るい電燈の下で勉強も出来るだろう。又ラジオも聞けるだろう。この光こそ日常生活に明るさを増し、更に喜びと大きな希望を与えてくれるであろう。

金色に実つた稲穂と電燈の光、努力は一つ一つ実つてゆく。

原町のみなさんに心から「おめでとう」とお祝いしたい。

また「としより」と若い人たちが協調し、お互いの立場を尊重しあつてこそ明るい社会が建設されるのである。「としより」と若い人との間にはもの感じ方や考え方に大きな違いがあります。「としより」は身体機能が弱つてきているうえに考え方は保守的な傾向をもつて居るので若い者からとかく敬遠されがちです。

## おじいさん、おばあさん ありがとう

も申しました通り「標準語」を指して云つて居るのではなく、方言であつても「本当に真実の現れた言葉」であるならば、美しい言葉であると言ふことをつけ加え、さらに美しい言葉こそ日常生活を楽しく明るいものにしてくれることを強調し、私のささやかな論文を終ります。

(県だよりから)

## 俳句

日併中里支部

白樺の月につかれて寝つた  
峰月  
盆頭も遠く街の灯消えか  
哲仙  
子を抱きて片手団扇に乳の  
哲仙  
うまし児の眠り安けき夜長  
桂仙  
かな  
砕かれし腰引きずりて兜虫  
桂仙  
天狗模す酒仙墮落虫の鳴く  
露兵  
一人づつ子を負ひ拓地の大  
露兵  
長き夜の母は二度目の終り  
一  
風呂  
関ながら甘き香に知る月見  
一  
草  
肉過ぎし年増女の来る草い  
き



行所館 所民所 社  
中里村公 刷所開  
印町新 日町新

# 謙虚な心

佐藤 牧堂

清津峡に入る都会の青年の物の聞き方が、時代の一面を表わすようだ。実にその語気の荒々しき、態度の横柄に呆れてしまふ。無論一部の人達だけではあるが、これが全部であつたら礼讓の君子國の体面にかかわる。昔の青年男女は、都会と田舎とを問わず、もつと謙虚さがあつた。物を尋ねる場合は勿論、物を教える時でも一応つつましやかな気持があつた。物質万能なアメリカ流の考え方が、唯物的なソ連式判断とが、清津の大自然にも滔々と運びこまれて、日本本来の醇風美俗を崩しつつあるかと思ふと、簡単にこれを見逃してはならないのである。彼等は恐らく悪意あるわけでもなく、僕らのよるな田野人を軽べツする

のでもなからうが、自分さへ事足ればそれでよく、昔流儀の礼儀作法は何でも封建的で、卒直大胆に感情を露出することが、近代感覚の特色であるかの如く錯覚するのではあるまいか。心理学的に見れば、青年時代は自信過剰の年頃で、路傍の人など眼中になく、彼等の腹を満たせてくれる米の結晶であることなど、意に介する必要はないらしい。この自信過剰というところが、青年の進歩を如何に鈍らせ、大脳の働きが早硬化して、早老若朽に陥しているか、識者のよく戒められる所である。特に猪突猛進したが時代には充分心すべきことである。頭の中が充実して、人の世の微妙な動きを擬視し、人間の愛情

と誠意とが、法律以上に社会構成の強い柱となつて居ることに思ひを致せば、生意気も角がとれ、言語動作も、もつとしつとりとした深みを加えるだろう。

権利というものは、ズルチン削のように甘いけれど、権利だけでは物の味にうまみが出ない。上手な料理人は砂糖を用いなくて、物の持ち味を生かすことによつて、言うに言われぬ美味をつくり出す。人間本来の持ち味は、法という他律的な衣裝にあらわれた権利ではなく、生れながらに授けられた真面目な心である。真心である。社会のうま味は個人の真心が縦横に織りなされることによつて生ずる。所が、アロハンのヤツを着ると真心はすつか

## 昭和三十三年 村会計のあとをみて

昭和三十三年 村会計のあとをみて

昭和三十三年度会計は五月一杯で閉鎖、その後三ヶ月以内に決算を終了しなければならぬことになつて居ますので、去る八月十九日

に就いて監査を致しましたので簡単にその結果を申し上げます。

昭和三十三年度の当初予算は、三、九四七万余円であり、前年度実績(予算審議当時)より約三割減で編成提案されたのに、議会に於いても予算要求に対し、相



鈴木謙吉氏

が、当時の財政予想から原案通り無修正で成立したのであります。

何分にも御承知の通り組合立野小学校の屋体建築という課題があつたために、不急事業は勿論のこと、消費的経費については、徹底して削減したのであります。そして、その後新農漁村振興事業の実施、九月に入つて台風による被害復旧工事の施行等のために、村費はとみに膨張、決算額才八五、九八八万円、才出五七四二万円と飛躍するの決果となり二四六万円を繰越すこととなりました。この巨額の経費も交付税の増配と、国、県の補助金増加により、僅かの災害起債一〇〇万によつて償い得た訳であります。これは当局の予算編成が財政計画に適合していることと、予算執行に際して、綿密周到な資金計画の下に、行務が運行なされた結果であることは、申すまでもありませんが、一面又村民各位の理解ある協力のしからむるところでありまして、



鈴木謙吉

# 道德教育上の諸問題

福原 滋



福原 滋氏

【親孝行について】  
 親孝行。大人にとつてはまあなんと魅力のある言葉でしょうか。大人は皆んなそれを期待している。そして、それは又充分根柢を持つていて、考へる。ぬくつてもぬくつても流れる汗もなんのその田の草取りにげみ、上役の目を気にしながらやつて来た三十年。そして、いよいよお世辞もお客なればこそだ。こんなにして育てた我が子だもの、この俺の子、この私の子に限りきつと親孝行をして、くれらさうと期待している。我が子は無情にも、口を開けば「自由」といい、「そんな事では」「平等」という、まあなんと情ない世の中になつたものだらう。これじゃ親も子もないじやないか。「せがれよこの手を見てくれ、このヒビ

だらけの手を」「母ちゃんの手をみてくれアカギレでいたくしてしようがねえんだ。ああ、それなのに学校の先生は「親孝行せよ」と教えないどころか「自由だ」との「平等だ」との「つまらん事をふつこむのだ。などと不満をきくことがある。ああこまったものだ。年とつたらどうなるんだらうと心配する方々の為の一つの資料を公開し共に考へてみたいと思ひます。次の文は約一五〇名の中学生とある教師の問答の一部です。

教師 諸君は親孝行と言ふ言葉を知つて居るかね。  
 生徒 知つて居ます。  
 教師 親孝行で知られて居る人は。  
 生徒 二宮金次郎です。図書室に伝記があります。  
 生徒 彼は歩きながら勉強したそうですが先生はそれについてどう思ひますか。  
 教師 さあね、誰か。生徒 ああね、僕の思ひにはあんな事をすれば近眼になつて就職試験に不利だと思ふんです。

と云うんです。  
 生徒 あれば、時代がちがうからで今の世の中では出来ない。  
 そうです、今の中学生は二宮金次郎から親達の期待する苦学力行型で口先だけの修身的親孝行は学びません。就職試験と健康に關連させて自分の頭で批判しながらとらえて居るのです。二宮金次郎は何百万人に一人しかいない天才でありました。その天才にして可能な苦難の道を平凡なる子供達におしつける事を教育に求めるべきか、自分の力と社会の現実に即して我が行く道を求めるべきかを教育に求めるべきか事の黒白は明白といえましよう。この一五〇名の生徒は親孝行という言葉に次のような理想をえがいておりました。  
 ◎職業にはげみ一人前の暮しの出来る人物になりたい。  
 ◎いつまでも親のすねをかじりたくない。  
 ◎湯入り(温泉行)ぐらいは楽々とさせてやりたい。  
 ◎親に家計の心配をかけたくない(大人になつた時に)。  
 ◎健康になつて(弱いのので)心配をかけないようにしたい。  
 ◎親の喜ぶ事をしてやりたい

# 中里村民運動会

◇みんなで参加しよう◇

恒例の村民運動会は、来しつて、あけて楽しい一日となる九月二十四日田沢校グラウンドに於いて行われることとなつた。

中里村民運動会も今年で四回目、回を重ねる毎に参加者が多くなり内容も充実して来た。これは村民の社会体育に關する理解が深まつて来たものと考へる。

私たち村民みんなが一堂に會することは年に一回か二回である。この機会に競技やレクリエーションを通じてお互いの親睦をはかり更に個人の健康を増進させるため、一人でも多く参加

△第一チーム 倉俣地区  
 △第二チーム 小出西田尻  
 △第三チーム 田沢  
 △第四チーム 田中、荒屋、山崎、通り山、桔梗原、芋川新田、高道山地区、清津峡地区(西方を含む)  
 ◎競技及びレクリエーション種目

# 火の用心

- (1)トラックの部  
男子 百米、二百米、四百米、千五百米、八百米、一公里、二公里、四公里
- (2)フィールドの部  
男子 走巾跳、走高跳、三段跳、砲丸投、走高跳、女子 走巾跳、走高跳、砲丸投
- (3)その他の部  
百足競走、障害物競走、夜の旅、猫に紙袋、借物競走、男子百四十才リレー、女子百才リレー、大玉送り、紅白の玉入れ、綱引き、幼児レース、煙草の火つけ競走、小中学生の遊戯 —— 以上

# 幸福のしおり

◇物で稼ぐな心で稼ぐ。あつという間に世は進む。追いつける生活。  
 ◇追われる生活。追い越す工夫。  
 ◇ムダムダムラ。ないくらし。  
 ◇世間てい思ふ心がムダのもと。(新生活通信より)

# 最後は乾燥!

通風乾燥機の正しい使い方

中野普及所 永井 秀夫

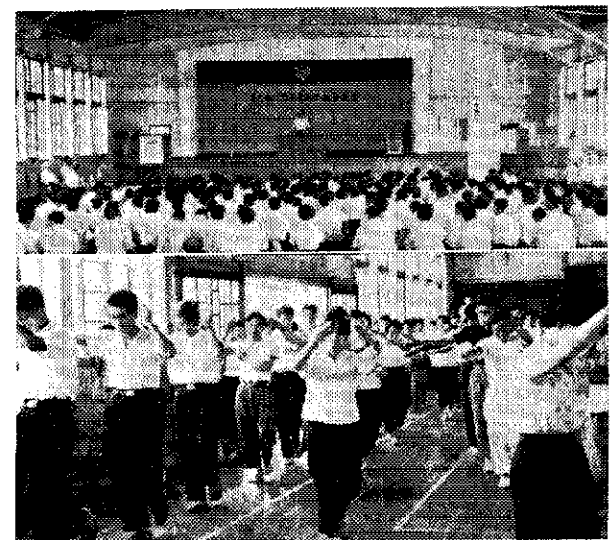
連続豊作の秋を迎えて喜ばしい限りですが、折角春から丹精して作つた米を出荷する時に水分が多いから一等級も二等級も下げられたりしたのでは、苦勞の甲斐がないというものであります。

そこで、籾の乾燥を良くするために通風乾燥機が大分使われるようになってきました。ところで、この通風乾燥機も使い方が悪いと折角の籾が乾かなかつたり、また米の質を落したりします。そこで今回は通風乾燥機の正しい使い方についてその概略を申し上げます。

●細かいことや、不明の点に農協、普及所、食糧事務所などへお尋ね下さい。

◆通風乾燥機設置についての注意

●乾燥機の大さきは一回到り処に処理したい量、原動機の大さき、場所などによつて決めますが、小さい面積に厚く積み込むより大きい面積に薄く積む方が効果があります。普通一坪か一坪半で、一回に籾約六石から十



写真上 青年学級生大会開会式  
下 レクリエーション民踊

一石位できます。  
 ●乾燥箱から出る湿った空気がまた送風機に回つてこまないようにします。このために送風機は室の外側にするか、ビニールなどでシヤ断します。また、送風機は湿つた場所とか乾燥室の風下になるようにすえつけます。

●送り込んだ風気が必ず籾の中を通るように、空気もれがないように目張りをします。

◆通風乾燥機使用上の要点

●籾がある条件の下で乾燥し得る限界水分があり、これを平衡水分といふます。温度(気温)が二〇度Cで湿度が八十%(普通この辺の九、十月の気候です)では十六%以下にはなりません。これを平衡水分といふます。従つて水分が十六%以上の場合には乾かすことが出来ません。乾燥室の温度を下げると、この場合温度を加えます。

●温度を加える場合は、気温よりも五度から十五度位高くし、湿度を四〇〜五〇%にします。

●乾燥の時間は、大体八時間から十二時間で仕上がります。余り早くすると胴割れ米などが出来品質が落ちます。

●普通の天候の場合は、朝の九時頃から午後四時頃までが温度も高く、湿度も低いので、この時間に運転すると効果が大きいです。

●籾も積み込む時は、どこも同じ高さに入れること乾燥ムラが出来ません。

●積み込む高さは普通三〇センチ位で四五センチ以上には積まないことです。

●送風機の回転数は籾の積込量によつて調節します。

●適当な風が送られていくかどうかを目安としてチリ紙のようなものを籾の上のせ、一寸位の所で浮いている位が良いようです。

●乾燥が終わつたかどうかは、積み込んだ籾の上の方と、下の方(スノコ)の近くの温度の差が少なくなつた時です。この他に籾の安息角による方法もありますが、研究中です。

●以上申し上げましたがこれを一口にいうと……  
 (1) 乾燥能力のある空気を

# 青年学級生大会

田沢小学校で行う

去る九月六日郡市社会教育振興会主催、中里村教育委員会主催で、郡市青年学級生大会が、田沢小学校に於いて行われた。

大会の趣旨は、「私たち郡市青年学級生が、友達になつたり交流を盛んにするために、じつくり話し合つてみよう」と言うことで、簡単なようだが案外困難な、そしてみんなが欲していることを取り上げた。

参加者は二一五名の多勢にのほり、十分科会に分れて大会の趣旨をそのまゝ分科会のテーマとして、みんなが同じ問題で話し合つた。又午後からは、レクリエーション、見学等を取り入れて、学級生同志の交流が盛んに出来るようにし、充分とはいえないけれども、楽しい意義のある一日を過ごして午後四時散會した。

作物と土壌の關係は不可分一体のものであることは御承知の通りで農業委員会ではこの土壌調査を終りませんがこの結果を記録した「報告書」が調査を担当した新潟大学の川瀬金次郎博士によつて執筆刊行され各村内農協に相当部数用意してありますから今後の肥料設計等に大いに利用役立ててもらいたい。

(高道山から土倉迄の調査は十月一日から実施予定)

# 箱飼鳥の登録を

野鳥はすべて許可を受けなければ捕えることはできませんし、籠で飼うには、きまはと、すずめ等の狩猟鳥や洋鳥を除いて他はすべて県に申請して登録を受けなければなりません。卵もとると罰せられます。

野鳥(狩猟鳥を除く)を飼つている人はすぐ登録するか登録しない人は野に放して下さい。

登録は一年間有効で手数料は一羽につき一五〇円で、くわしい事は役場係へお知らせ